



容器包装リ

サイクル法の
見直しが始ま
る。拡大生産
者責任（EPR）
を取り入

れた個別リサイクル
法の先駆けとして、
これまでに多くの成
果をあげてきた。一
方で、関係業界、市
町村が抱える課題も
大きくなっている。

岐路に立つ PET再商品化

生PET樹脂の需要
家が買値の値下げ要
求を強めたことなど
が要因となり、多く
の指定法人ルートで
落札した再商品化事
業者がさばききれな

事態があった。リー
マンショック直後の
再生PET価格の暴
落だ。この時は、特
に独自処理ルートのも
のへの緊急措置とし
て再入札が行われた。

PET樹脂価格の値
下がり傾向に全く先
が読めない。このま
まで制度そのものが
の崩壊につながるか
もしれない（業界に
詳しい識者）（中）

その典型が、ここ
数カ月のPETボトル
再商品化事業を巡
る混乱だ。
国内PET樹脂価
格の下落が続ぎ、再

いPETボトルの在
庫を抱えている。あ
り得ない量のペール
の山を眼前に苦悩が
続く。
過去に似たような

しかし、今、起こ
っている事態はリー
マンショックの時と
は全く違う事情によ
る。
「リーマンショッ
クの時はいき
なり暴落した
が、その後の
回復も早かつ
た。ただし、現
在の事態は、